# 化学的・物理的処理に伴うまつ毛の特性変化

(株式会社ミルボン $^{1}$ 、株式会社コーセー $^{2}$ 、コーセーミルボンコスメティクス株式会社 $^{3}$ )  $^{\circ}$  古田桃子 $^{1}$ 、渡邉紘介 $^{1}$ 、平昌宏 $^{2}$ 、伊夫伎夏希 $^{2}$ 、古牧玲佳 $^{3}$ 、湯地知子 $^{3}$ 、伊藤廉 $^{1}$ 

#### ≪背景≫

まつ毛は体毛の一種であり、加齢に伴って短く、ボリュームが少なく、色味が薄くなる<sup>1)</sup>ほか、Caucasian と比較して、Asian では本数が少なく、太く、カールの度合いが小さい<sup>2)</sup>との報告がある。まつ毛を上向きにカールさせるためにアイラッシュカーラーを用いて物理的に繊維を変形させ角度をつける化粧法が一般化しており、化学的処理によってまつ毛をカールセットする手法も存在する。

頭髪においては、ヘアカラーやパーマネントウェーブなどの化学的処理、あるいは日々の洗髪やコーミング等の物理的処理に伴って、ダメージが起こる。ダメージによる変化が毛髪繊維のどの部位で、どのように生じているのか多様な手法で評価され、キューティクル損傷や内部タンパク質の変化・流出に起因するダメージに対応するための補修方法も見出されている。一方、まつ毛について化学的・物理的なダメージを評価した研究報告は極めて乏しい。そこで今回我々は頭髪での研究事例を参考に、まつ毛のダメージ変化を確認し、ダメージの改善手法を探索した。

#### ≪実験≫

20 代から 70 代の女性被験者 249 人を対象に、まつ毛に関する美容習慣・履歴の調査、採取したまつ毛の形状評価(長さ、毛径、カール角度)を行った。まつ毛の化学的・物理的処理履歴で群分けした各被験者に対し、走査型電子顕微鏡を用いたキューティクル表面の観察、光学顕微鏡による横断切片の観察、顕微フーリエ変換赤外分光分析装置で得られた赤外スペクトルの解析による内部組成の評価を試みた。本研究にあたり、被験者には倫理委員会で承認された(ブレインケアクリニック倫理審査委員会管理番号: BCC230601-2、UMIN ID: UMIN000030179)同意書に基づいて、インフォームドコンセントを得た。

## ≪結果・考察≫

まつ毛への処理履歴のない群に対し、化学的処理群では、まつ毛の長さに対して毛径が小さく、痩せ細っている傾向が示された。そこで、各群の採取まつ毛について走査型電子顕微鏡観察を行ったところ、化学的処理群ではキューティクル剝離等の損傷、物理的処理群では繊維形状の変化が観察された(Fig. 1.)。

内部組成については頭髪と同様、まつ毛もその多くがケラチンタンパク質で構成されており、アミド結合やジスルフィド結合を多く含む。ブリーチ処理毛髪での鈴田らの報告  $^{3}$ を参考に、ダメージによって生成されるシステイン酸の指標として S=O 対称伸縮運動に起因する  $1040\,\mathrm{cm}^{-1}$ 付近のピーク強度を解析したところ、化学的処理群ではピーク強度が有意に増大していた(Fig. 2.)。

以上の結果より、化学的処理によるまつ毛の痩せ細りは、表面のキューティクルの損傷と、内部のタンパク質におけるシステイン酸生成、さらにそれに続くタンパク質の流出によるものと考えられる。このような特性変化を示したまつ毛に対し、補修成分の効果についても検証を行い一定の結果が得られたため、当日議論する。

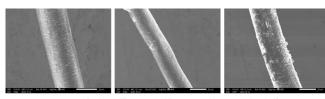


Fig. 1. 走査型電子顕微鏡によるまつ毛の観察像. 左から処理履歴なし群、物理的処理群、化学的処理群

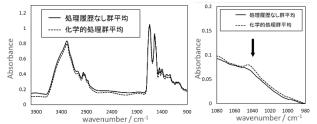


Fig. 2. 処理履歴なし群と化学的処理群の平均スペクトル.

### ≪参考文献≫

- 1. Glaser D A, Jones D, Carruthers J, et al., Dermatol Surg., 40:1208-1213 (2014)
- 2. Na J I, Kwon OS, Kim B J, et al., *Br J Dermatol.*, 155:1170-1176 (2006)
- 3. 鈴田和之ら, J. Fiber Sci. Technol., 72(1), 1-8 (2016)

Changes in eyelash characteristics due to chemical and physical treatments, ⊙Momoko FURUTA, Kosuke WATANABE, Masahiro TAIRA, Natsuki IBUKI, Reika KOMAKI, Tomoko YUJI and Len ITO: MILBON Co., Ltd., 2-3-35, Zengenji-cho, Miyakojima-ku, Osaka, 534-0015, Japan, Tel: +81-(0)6-6925-8010, Fax: +81-(0)6-6928-2671, E-mail: mfuruta@milbon.com